

平成21年度堆肥共励会 入賞者の概要

1. 概要

出品者名	井出政宏		
所在地	山鹿市鹿央町合里5666-2		
組織等の概要 (活動の経緯)	平成8年度	牛舎新築(フリーストール)固液分離機設置 スイカ等の施設園芸農家5戸へ堆肥販売	
	平成15年度～	人参生産農家へ液肥(スラリー)を散布	
	平成16年度	畜産環境整備リース事業により堆肥舎建設	
	平成20年度	鹿本地方堆肥共励会首席	
	平成21年度	ネギ生産農家へも液肥(スラリー)散布	

2. 堆肥の特徴(混合割合。重量比)

原材料	家畜ふん尿		副資材			その他	計
	乳牛		のこくず				
	99		1				100

3. 堆肥の生産及び流通について)

1) 堆肥生産の施設・機械等

- ・堆肥舎 450 m²
- ・液肥貯留槽 300 m³
- ・固液分離器(スクリュース式)
- ・バキューム 1台(4t)
- ・ホイルローダー 1台

2) 堆肥化及び利用・流通のフロー

<堆肥化>

家畜糞尿(乳成牛55頭)

↓

固液分離→液→貯留槽: 消臭効果のある液剤を添加→人参及びネギ農家へ契約で散布

↓

固60%調整 →ホイルローダー切り返し: 堆肥製造施設

4 堆肥生産の工夫や特徴

- ・固形分の水分を固液分離機を調整して、水分60%以下になるように心がけています。
- ・堆肥の切り返しを1回/週で行っています。
- ・堆肥は耕種農家と5万円/年の契約で量の制限は設けていません。
量の制限を設けていないことから、契約方式を取り入れています。現在は4戸の耕種農家で常に不足状態となっています。(供給できないことから、1戸の農家とは契約解消)
堆肥の搬出および散布は耕種農家が行うことより、労力の削減ができており、本業である酪農に集中することができています。
- ・契約農家からの要望で、副資材として稻わらを混入するなど、契約農家の要望に応じています。

5 今後の目指す方向と課題

堆肥は需要に供給が間に合わないので、契約農家を増やすことは考えていませんが、問題は固液分離後の液肥でした。

水稲や大規模の人参生産農家と契約ができたことから、散布先は確保できましたが、課題は散布時の悪臭でした。

さいわい、試験的に液肥（スラリー）へ悪臭防止の添加剤を加えたところ、散布時だけでなく、散布後も悪臭の発生を抑えることができました。

人参の生育に問題もないことから、昨年は市（鹿央総合支所）からの依頼でネギへの散布もおこなったところ、生育も良く、悪臭の発生もありませんでした。

今年から、ネギ生産農家から散布契約の申し出があり、10万円／年で散布しています。

また、水稲への液肥散布は、私自身が依頼のあった圃場の状態を見ながら、例年散布量を変えて散布しています。しかし、人参やネギについては耕種農家の要望に応じて散布しているので、適正量を知りたいと思っています。

堆肥共励会以外に液肥共励会も実施していただき、液肥の利用価値や畜産農家のスラリーへの環境保全意識を高めていければと思います。

なお、堆肥については、近隣の高齢農家の家庭菜園用に袋代だけ頂いて、取り放題を実施できればと思っています。

牛舎がある以上、臭いが発生するのは避けられませんので、堆肥を提供することで、地域に貢献できればと思っています。



堆肥化施設



固液分離機



固液分離後の牛糞